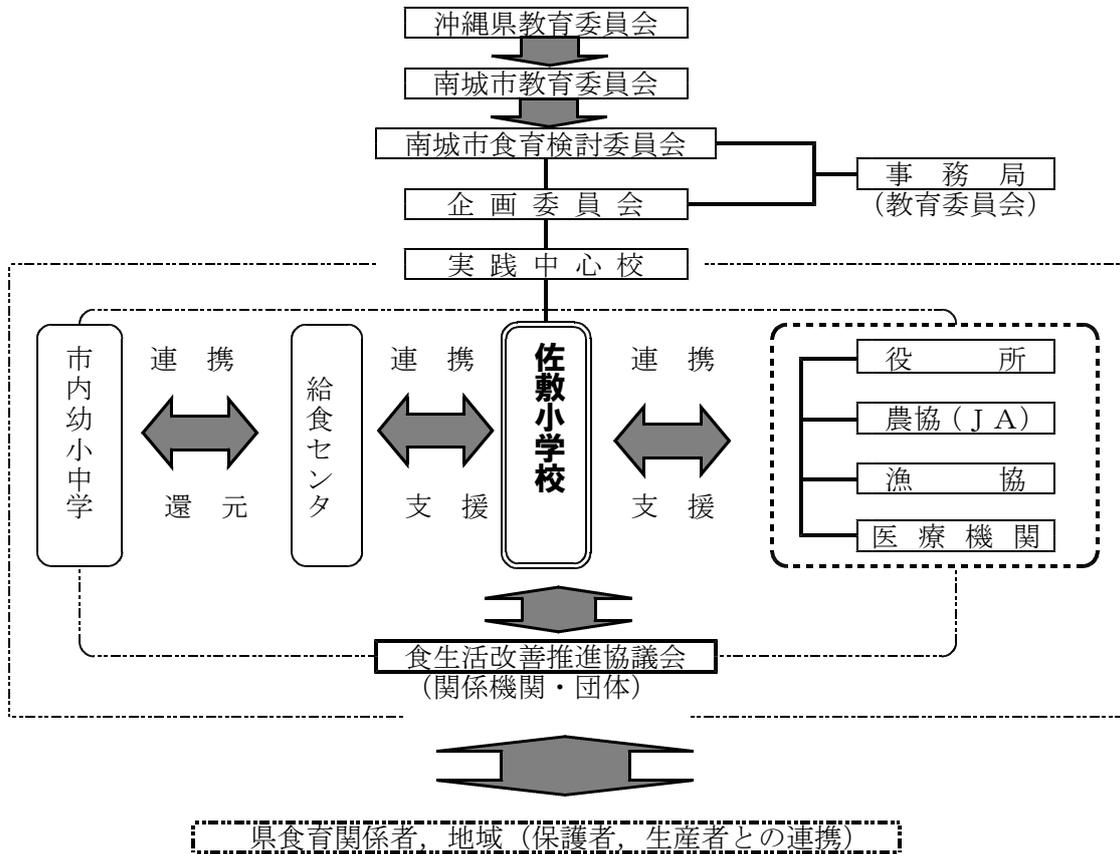


# 栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	沖縄県
推進地域名	南城市

## 1. 事業推進の体制



## 2. 事業内容

<b>テーマ1</b>	各教科における食に関する指導の充実のための取り組み
<p><b>食育朝会（子どもプロジェクト）</b></p> <p>1 テーマ「給食残量ゼロ週間」</p> <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○世界中には、食べるものがなく苦しんでいる人・食べ物がなく死んでしまう人がたくさんいることを知るとともに、私たちは、食べ物の命をいただいていること、食事を作るのに多くの人々が関わっていることを知り、残さず食べようとする態度を養う。</li> </ul> <p>3 期日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成24年11月12日（月）食育朝会</li> </ul> <p>4 参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全児童</li> </ul> <p>5 取り組み結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○13学級中7学級が1週間給食残量ゼロを達成した。</li> </ul>	
<p><b>カレー給食</b></p>	

## 1 ねらい

- 心を込めて育てた人参、ジャガイモ、玉ねぎを収穫する喜びを味わう。
- 育てた作物でカレーを作り、感謝していただく。

## 2 日時

- 平成25年3月6日（水）弁当の日

## 3 当日までの取り組み

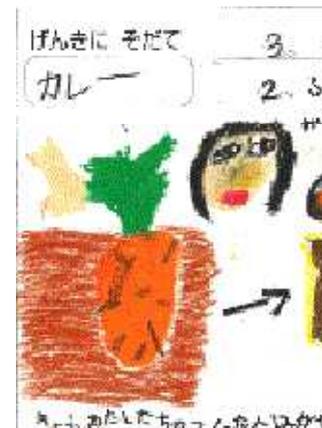
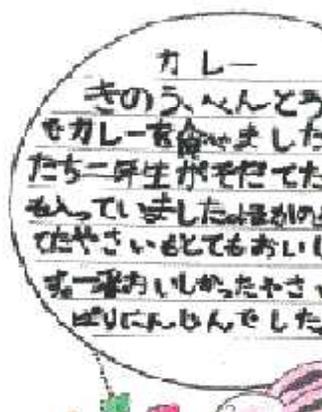
- (1) 当日カレーを調理してくれる保護者を確保する。
- (2) 野菜を収穫し、1口サイズにカットしておく。

## 4 当日

- (1) 保護者は9:00に家庭科室に集合する。
- (2) 児童は、各自ご飯とスプーンを持ってくる。
- (3) 給食時、担任と児童でカレーを教室へ運びいただく。



### 児童の感想



## テーマ2

◇学校と家庭との連携による食に関する指導の充実のための取り組み

◇家庭に対する効果的な働きかけの方策に対する調査研究

### P T A 学年親子集会

#### 1 ねらい

- 本来P T A 学年親子集会は、保護者間の親睦を深めることを目的をしていますが、そこに食に関する取り組みを取り入れることにより、親子で食について考えるきっかけにする。

1年（1年生は牛乳パックで育てたネギを使用したジュース作り）



3年 親子カレー作り（写真無し）

2年 ピーマンを使ったピザづくり

4年（ニラ入り  
ひらやーちーづくり）



6年（ピーマン入り焼きそば）



5年（1品持ち寄り13祝い）



「食育の日・野菜の日」の取り組み

1 ねらい

普段の給食より野菜を多く使用した献立を通し苦手な野菜もしっかり食べることができるという自信に繋げる。

またランチョンマットを通し野菜摂取の重要性について保護者と意識の共有化を図る。

- ・毎月19日（食育の日）に地元の野菜を多く1食200g前後の野菜を使用した献立を実施
- ・ランチョンマットの配布（レシピと食に関する情報、保護者からの通信欄）で情報の共有を図った。



2 ランチョンマット配布についてのアンケート結果

- 自分自身の健康のため食事・栄養について「いつも・時々気をつけている」人・・・90.3%
- ランチョンマットの給食紹介を「良く・時々見る人」・・・・・・・・・・86.8%
- ランチョンマットのレシピを家庭料理に参考にした人「良く・時々ある」・・・・・・・・43.4%
- 児童の話（野菜と減塩）を「良く・時々聞く」・・・・・・・・・・41.8%
- 児童の言葉で自分自身・家庭の食事を「大いに・やや変えた」人・・・・・・・・38.6%

テーマ3

◇ 学校と地域の連携による食に関する指導の充実のための取組

南城市まつりでの啓発

ねらい 南城市まつり（イベント）を通し地域住民へ「食育」の重要性をアピールする。

日時 平成24年10月12日（金）～14日（日）

- 内容
- ①「食育の日・野菜の日」の取組（献立等の展示）
  - ②地場産物活用状況の展示
  - ①給食レシピの配布 など

地産地消会議

ねらい

地域の農産物の生産者やJ A、市産業振興課

大学生との交流給食（給食お助け隊）

ねらい

大学生や大学関係者（外部の方）と会食

など関係者と定期的に会議を開催し、共通理解を図り地元農産物の活用促進を図る。

を通し社会性を養い将来の目標へと繋げる。



### テーマ1～3に共通する具体的計画

① 学校公開日による公開授業等

- 栄養教諭とのTTの授業
- 栄養教諭による食育講演会

②南城市まつりにおける食育に関する掲示のコーナーを設置し地域への啓蒙活動の実施

④食育シンポジウムの実施

- 内 容

〈講演会〉

- ・ 沖縄料理について
- ・ 食卓のはたす役割
- ・ 基本的な生活習慣を身に付ける

〈シンポジウム〉

- ◇ 「食育の取り組みについて」： 根川文枝（佐敷知念給食センター 栄養教諭）
- ◇ 「地産地消について」： 山城隆則（ファーマーズ推進本部 部長）
- ◇ 「各ライフステージにおける食育の取り組みについて」： 平良 浩（つばや歯科医院 院長）

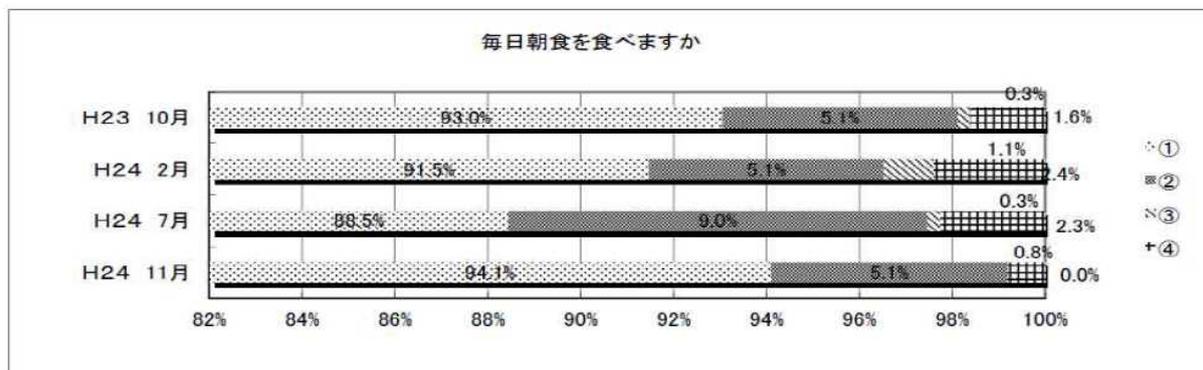


### 本事業における評価指標と考察

毎日朝食を食べますか

- ①毎日食べる
- ②1週間に2～3日食べないことがある
- ③1週間に4～5日食べないことがある
- ④ほとんど食べない

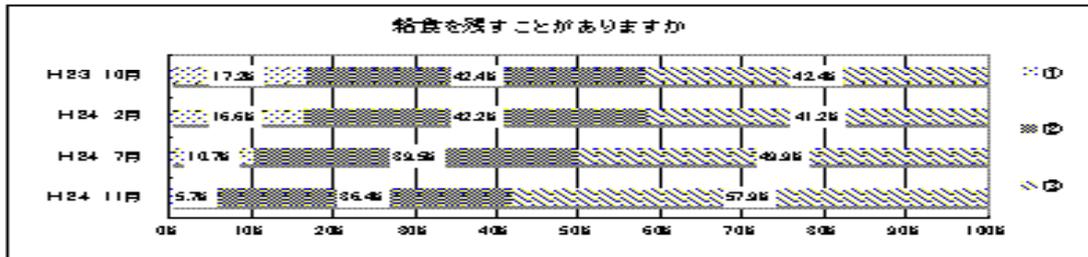
	①	②	③	④
H24 11月	94.1%	5.1%	0.0%	0.8%
H24 7月	88.5%	9.0%	0.3%	2.3%
H24 2月	91.5%	5.1%	1.1%	2.4%
H23 10月	93.0%	5.1%	0.3%	1.6%



給食を残すことがありますか

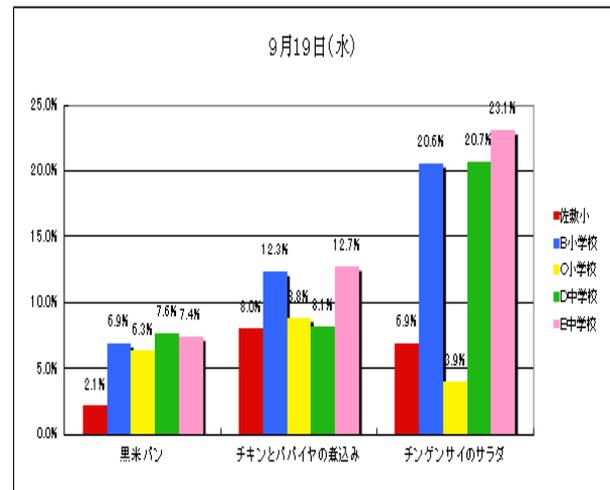
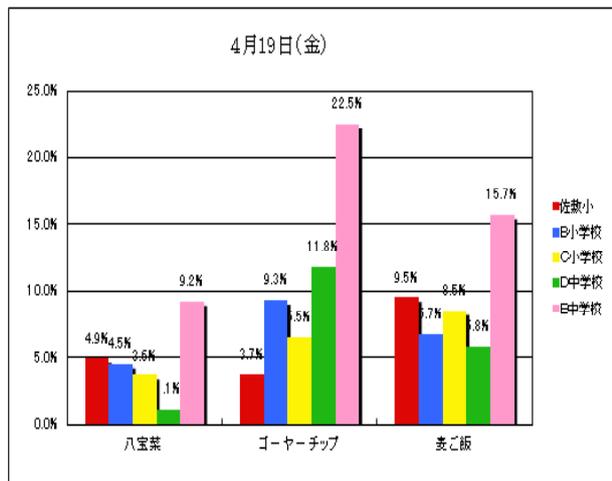
- ①よく残す
- ②ときどき残す
- ③ほとんど残さない

	①	②	③
H24 11月	5.7%	36.4%	57.9%
H24 7月	10.7%	39.5%	49.9%
H24 2月	16.6%	42.2%	41.2%
H23 10月	17.2%	42.4%	42.4%



残量調査の結果

4月19日(金)	佐敷小	B小学校	C小学校	D中学校	E中学校	9月19日(水)	佐敷小	B小学校	C小学校	D中学校	E中学校
八宝菜	4.9%	4.5%	3.6%	1.1%	9.2%	黒米パン	2.1%	6.9%	6.3%	7.6%	7.4%
ゴーヤーチップ	3.7%	9.3%	6.5%	11.8%	22.5%	チキンとパパイアの煮込み	8.0%	12.3%	8.8%	8.1%	12.7%
麦ご飯	9.5%	6.7%	8.5%	5.8%	15.7%	チンゲンサイのサラダ	6.9%	20.6%	3.9%	20.7%	23.1%



## 本事業の成果

- 栄養教諭による給食時の指導、栄養教諭と担任とのTTによる指導を通して、食に関する知識やバランスよく食べることの大切を知り、苦手な食べ物でも食べるようになり、給食残量が大幅に減った。
- 農作物を育てて食べる体験的な活動を通して、食材や作ってくださった方への感謝の心が育ってきた。
- 月1回の「食育の日・野菜の日」の取り組みで「給食レシピ・児童の言葉」による食事情報紹介は保護者への「食に関する関心を深め」食事行動の変容に効果が見えた。
- 実践中心校だけでなく、他の学校においても授業参観日に栄養教諭との授業実践や食に関する栄養教諭による講話を実施することができた。

## 今後の課題(今回の事業を実施した結果、新たに見えた課題)

- 家庭・地域・学校・関係機関との連携を更に深める方策。
- 食に関する知識は身に付いてきたが、マナーについての指導が不十分である。